

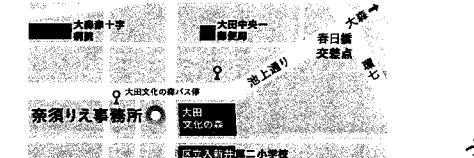
# 規制緩和でこどもの教育環境は守れない山王小隣にホテル？

# これでいいの？大田区

# フェアな民主主義 奈須りえ NEWS



ホームページ: <http://nasurie.com>  
 ブログ: <https://blog.goo.ne.jp/nasurie>  
 ツイッター/facebookでも情報発信中!  
 YouTube「奈須りえチャンネル」始めました!  
 【事務所】〒143-0024 東京都大田区中央2-11-5  
 TEL:03-6303-8671 FAX:03-6303-8672  
 E-Mail: [office@nasurie.com](mailto:office@nasurie.com)



- 東洋英和女学院高等部・短期大学卒業
- 青山学院大学卒業
- 大田区立調布大塚小学校PTA副会長
- 1992～1997年 夫の転勤に伴い香港在住
- 2003年 大田区議会議員初当選 現在5期目
- 羽田空港増便問題を考える会
- リニア市民ネット
- 公共サービスを考える会
- 景観と住環境を考える全国ネットワーク
- 戦争をさせない1000人委員会
- 呑川ネットワーク連絡協議会
- やめて!水道民営化
- 田園調布せせらぎ公園の緑を守る会
- 大田区北千束在住

## Profile

ハガキきりをおこなってくださいます。

- 山王小隣にホテル?
- 浸水時の避難所
- 羽田新飛行ルート
- ミニ独立政府
- 監査請求
- 目からうろこの財政
- フェアな民主主義とは

でも、フロントがなくてもホテル営業が可能になっていますが、中央区は、条例で従業者の常駐を義務付け、安全を確保しています。

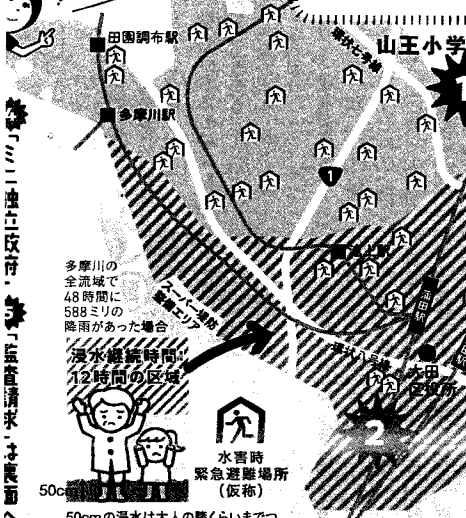
便利で住みやすい大田区ですが、まだまだ問題はたくさんあります。そんな大田区の問題を一緒に考え、行動していきましょう。

山王小学校の隣で、フロントの無いホテルの営業計画が進んでいます。

盗撮、連れ去り、声かけ、不適切な接触や感染症の問題ほか様々な心配から、地域の方たちが2709筆の署名とともに、大田区に許可をおろさないでほしいと要望書を提出しました。旅館業法改正で1室

注目される教育委員会意見

ホテルから100m以内に小学校がある場合、教育委員会が許可の判断をします。所長が許可の判断をします。6人の教育委員と大田区保健所長は子ども教育環境を守る判断をすべきです。



50cmの浸水は大人の腰くらいまでつかかる状態です。地図の斜線の地域は50cm以上の浸水が12時間(目安)続く地域のおよその目安です。詳しくは大田区のハザードマップでご確認ください。

## 2 浸水地域に もっと避難所を

人口73万人の大田区の避難所定員は14万人弱

多摩川の下流部に位置し、東京湾に接する大田区は、多摩川の氾濫・高潮の被害、「下水道など大量の雨水を排水できないため」に被害の心配な地域です。水被害の心配な地域です。多摩川の大雨による最大浸水区域は、上の地図のオレンジ色の斜線部分を予想しています。(大田区ハザードマップより)

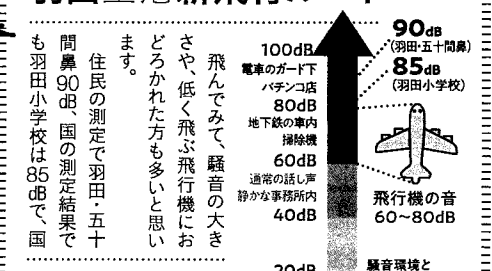
浸水地域に少ない避難所

地図でも、京浜急行より海側の浸水被害が予想される区域は、避難場所が少ないことがわかります。台風19号では、浸水が予想された多くの地域で避難所がしばしばになり受け入れできなかったところもあります。

一極集中させない防災

密集した都市の防災は困難です。今よりさらに過密にするのではなく、集中させないまちづくりは、緑や環境だけでなく防災の視点からも大切です。

## 3 やっぱりうるさかった 羽田空港新飛行ルート



飛行機による騒音の大きさ、自由化「日米双方の航空企業」で低く飛ぶ飛行機におどろかれた方も多しと思えます。

住民の測定で羽田・五十間線90dB、国の測定結果でも羽田小学校は85dBで、国会見で答えた「ルートを拡大」

低層住宅の避難は高層の公共施設へ

上の階に逃げることを垂直避難と言います。低層階に住む方たちのためにも、公の施設の2階以上を避難のために開放すればいいという時に命をつなげます。現在、大田区もその方向で動いているそうです。

郵便はがき

143-0024

大田区中央2-11-5

大田区議会議員 フェアな民主主義 奈須りえ 行

ご連絡先をお書きくだされば、奈須りえニュースをお送りします。

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

メール \_\_\_\_\_



# 4 企業と大田区がつくるミニ独立政府とは

# 5 区民の声が大田区を良くします

課題は住民の声で始まり、住民と議会での合意形成を経て解決すべきものです。ところが、特定の企業が担い手となることを前提に課題を事業化する包括連携協定という仕組みが始まっています。

大田区では、(株)セブン&アイ・ホールディングス、日本生命相互会社ほかと自動更新の包括連携協定を締結しています。

協定を締結する企業は、全国展開している大企業がほとんどで、コンビニ加盟店は、自治体との協定を理解したうえでフランチャイズ契約することまで求められています。

**住民も議会も置き去り**

たった一本の協定書を議決も無

大田区が不当な税金の使い方をしたとき、それを区民が指摘し、是正を求める「監査請求」というしくみがあります。

このしくみを使い、「大田区の不正を許さない住民の会」が監査請求をおこないました。

監査する委員は、区議会の最大党派(自民党)第二派(公明党)各1名、区長が議員として推薦した公認会計士、区の職員4名で、有償のポストです(議員報酬に加え約200万円、区長推薦の議員は年収約400万円)。請求は却下されましたが、「大田区の不正を許さない住民の会」が、大田区の住民自治、新しい一歩だと思えます。

権力は腐敗し暴走するところがあります。大田区を良くするのは、大田区民の声です。



企業と縮結しただけで、企業が行政権限を持った時、企業が儲けのための事業を提案しないでしょか。私たちの税や制度は、企業利益という一部の資本家のために使われないでしょうか。

行政は全体の奉仕者ですが、企業は、株主利益の最大化のためにあります。

家計であれば賃金収入がまず決まり、その収入にもとづいて支出を決めます。

一方、国や自治体の財政は、支出(必要・需要)も、それをまかなう収入(税金)も、政治が決めるしくみです。

必要に對し、収入が足りなくなれば、借金(起債)したり、基金(貯金)を取りくすしたり、増税したりすることになります。

財政破綻した夕張市が標準

行政情報

国や自治体の持つ行政情報は、住所・家族関係(戸籍住民票)、資産・所得(課税)、障がいの有無や健康や生活状況(福祉・保険・年金・生活保護)、嗜好や思想(図書館)、違反・犯罪履歴(警察)、補助金の支給先；ほか、多岐にわたります。これらに、各種カードや防犯カメラ、SNSやインターネットなどの情報を組み合わせた、ビジネスチャンスを探るのに、大田区には、プライバシーの権利をうばわれ、リスクにさらされる可能性が出てきます。

スーパーシティ構想

この不安をさらに強めるのが、本国会で国家戦略特別区域法を改正してつくるとうしている、スーパーシティ構想です。行政・個人・企業等、あらゆる情報をデータベース化した「スーパーシティ(仮想都市)」をつくり、企業に使わせることを可能にする法改正です。

行政情報

ビジネスチャンスの宝庫

区が体育館や文化施設をつくる時、使用料を値上げすると、福祉や教育の財源を切りつめることも、借金するとも言いません。『有ったらいな』で箱モノが増え続けること、使用料があがり、福祉や教育の財源が減り、借金が減ることになり、増税につながります。

「有れば嬉しい」だけでなく、税金や使用料を負担してでも必要か、福祉や教育等とどちらを選ぶか、など議論する時期にきています。

守りたい住民自治

住民自治と議会制民主主義の外側には、住民と議会の権限の及ばない意思決定機関(資本家主義)を完成させてはなりません。

「火事場」で

国家戦略特区の有識者に名を連ねる安念潤司氏は「今も火事場だ」という認識を作る必要がある。だから、平常のルーチンはスキップさせてもらいます」と発言しています。

この安念氏は国家戦略特区を「国・自治体・企業でのミニ独立政府」と呼び、これをさらに進めたのが「スーパーシティ」と説明しています。

自治体内では、既に、マイナンバーに関連付けた個人の行政サービス情報収集が始まっています。自治体や企業の枠を取り払い、スーパーシティに集約した情報を駆使して事業化できるのは、自治体と包括協定を結んだ大企業ではないでしょうか。

コロナウイルスという「火事場」で

大田区議会議員 フェアな民主主義 奈須りえへのご意見をお願いします。

① 気になった記事に○をおつけください。

- 山王小：規制緩和で学校の隣にホテル？
- 防災：浸水地域にもっと避難所を！
- 羽田：やっぱりうるさかった！
- ミニ独立政府：スーパーシティ構想
- 監査請求：区民の声を大田区へ！
- 目からうろこ!!の財政：あったら良いな？
- フェアな民主主義：議員は住民の代表です

② 今後取り組んでほしい・一緒に取り組みたいテーマ

( )

③ 参加してみたいと思う奈須りえの活動は？

( )

④ 直接、奈須りえの話を聞きたい方は連絡先をご記入ください。

( ) について、直接話を聞きたい

ご連絡先：メール ( )

電話 ( )

⑤ その他、ご自由にお書きください。

## フェアな民主主義

### 議員は住民の代表です

**議員と行政を分断する「議会災害対策本部」**

コロナウイルス対策の陰で、大田区議会は、緊急時に情報を一元管理し、個々の議員が行政と直接連絡することを禁じる「議会災害対策本部」をつくってしまいました。

**区長に全権委任する災害復興本部条例**

大田区には、災害復興を理由に、区長が災害復興本部長になり、計画、財政、人事、事業を決められる「大田区災害復興本部条例」が成立しています。

コロナの影響で休会する議会もでてます。緊急時だからと議員わずか7名の「議会災害対策本部」が行政と連絡するだけの議会になれば、権限の集中した区長のほぼ独裁体制が可能になり、議員を通じ届くはずの住民の声は、行政からさらに遠くなります。

当時、最も民主的と言われたフイメール憲法下の議会自らが、議会政治を廃止するいわゆる全権委任法を議決し、そこから、独裁者ヒトラーは生まれたことを忘れてはなりません。

### 活動風景 (一部紹介)

2019年

- ▶ 9月14日 多摩川清掃工場見学会
- ▶ 9月23日 せせらぎ公園集会以で 講師の上道恵子さんと
- ▶ 10月1日 水道民営化 生徳パルシステムで講師
- ▶ 10月20日 江東区民集会以で「野党共闘と住民自治」について講演
- ▶ 10月29日 羽田飛行ルート変更で 高さ制限について 国交省公聴会で公述

活動インフォメーション

▶ Youtube 奈須りえチャンネル

- ▶ 3月20日(金) 13:30~16:00 【5G(フイメール)勉強会 講師 懸橋哲夫さん】
- ▶ 3月27日(金) 13:30~16:00 【区政報告会】

動画で講演会などの配信をします。奈須りえブログからもリアルタイムで視聴できます

奈須りえと話したい方へ!

- ▶ 第1水曜日:19~21時
- ▶ 第1金曜日:10~12時

この時間奈須りえは事務所にはいません。あらかじめメールか電話でご連絡ください。 office@nasurie.com ☎ 03(6303)8671

